六　発行額

イ　価格競争入札発行　額面金額で一兆四十七億円

ロ　国債市場特別参加者・非価格競争入札発行　うち、財政法第四条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で六千四十二億六千四百五十万円、特別会計に関する法律第四十七条の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で千九百九十億千四百五万円、同法第六十二条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で二千十四億二千百四十五万円

ハ　国債市場特別参加者・非価格競争入札発行　特別会計に関する法律第四十七条の規定に基づき発行した利付国債について、額面金額で九百四十四億円

七　払込金額

イ　価格競争入札発行　九千九百七十六億千三百七十五万円

ロ　国債市場特別参加者・非価格競争入札発行　九百三十七億二千九百七十六万円

ハ　国債市場特別参加者・非価格競争入札発行　千四百三十一億七千六百十八万円

八　最低額面金額　五万円

九　振替単位　振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。

十　発行日　平成二十三年二月二十五日

十一　発行価格

イ　価格競争入札発行　額面金額百円につき九十九円十五銭以上のそれぞれの応募価格

ロ　国債市場特別参加者・非価格競争入札発行　額面金額百円につき九十九円二十九銭

十二　利率

十三　経過利子の払込み　年二・〇パーセント

(一)　募入決定の通知を受けた者は、払込金額に加え、次の算式により算出した金額を第二十号に規定する期日に払い込むものとする。

$$\text{額面金額の総額} \times \frac{2.0}{100} \times \frac{67}{365}$$

(二)　発行時において、その利子に係る所得税が源泉徴収されるものとして振替口座簿中の口座に記載又は記録されるものについては、前記(一)の算式により算出した金額から当該金額に百分の二十を乗じた金額（ただし、当該国債を発行時において取得する者が非居住者又は外国法人である場合には、前記(一)の算式により算出した金額に当該非居住者又は外国法人が適用を受ける所得税の税率を乗じた金額）を控除することができる。

十四　初期利子　平成二十三年六月二十日を支払期とし、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う（以下、次号及び第十六号において規定する期日について同じ。）。

$$\text{額面金額の総額} \times \frac{2.0}{100} \times \frac{1}{2}$$

十五　第二期以後の利子　毎年六月二十日及び十二月二十日を支払期とし、各支払期において、その日以前六月間に属する利子を支払う。

十六　償還期限　平成四十二年十二月二十日

十七　償還金額　額面金額百円につき百円

十八　元利金支払場所　日本銀行

十九　入札参加者　財務大臣から通知を受けた者

二十　払込期日　平成二十三年二月二十五日

○財務省告示第六十五号

国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵省令第三十号）第五条第十一項の規定に基づき、平成二十三年二月十四日に発行した利付国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十三年三月八日

財務大臣　野田　佳彦

一　名称及び記号　利付国庫債券（四十年）（第三回）

二　発行の根拠法律及びその条項　財政法（昭和二十二年法律第三十四号）第四条第一項及び特別会計に関する法律（平成十九年法律第二十三号）第四十七条

三　振替法の適用等　社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。

四　発行方法　利回りを競争に付して行われる入札による発行

五　募入決定の方法　各申込みのうち応募利回りの低いものからその応募額を順次割り当てる。

六　発行額　額面金額で二千九百九十六億円うち、財政法第四条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で二千二十一億百九十万円、特別会計に関する法律第四十七条の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で九百七十四億九千八百十万円

二千九百六十四億八千四百十六万円

七　払込金額　五万円

八　最低額面金額

九　振替単位　振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。

十　発行日　平成二十三年二月十四日

十一　発行価格　額面金額百円につき九十八円九十六銭

十二　利率　年二・二パーセント

十三　経過利子の払込み

(一)　募入決定の通知を受けた者は、払込金額に加え、次の算式により算出した金額を第二十号に規定する期日に払い込むものとする。

$$\text{額面金額の総額} \times \frac{2.2}{100} \times \frac{147}{365}$$

(二)　発行時において、その利子に係る所得税が源泉徴収されるものとして振替口座簿中の口座に記載又は記録されるものについては、前記(一)の算式により算出した金額から当該金額に百分の二十を乗じた金額（ただし、当該国債を発行時において取得する者が非居住者又は外国法人である場合には、前記(一)の算式により算出した金額に当該非居住者又は外国法人が適用を受ける所得税の税率を乗じた金額）を控除することができる。

十四　初期利子　平成二十三年三月二十日を支払期とし、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う（以下、次号及び第十六号において規定する期日について同じ。）。

$$\text{額面金額の総額} \times \frac{2.2}{100} \times \frac{1}{2}$$

十五　第二期以後の利子　毎年三月二十日及び九月二十日を支払期とし、各支払期において、その日以前六月間に属する利子を支払う。

十六　償還期限　平成六十二年三月二十日

十七　償還金額　額面金額百円につき百円

十八　元利金支払場所　日本銀行

十九　入札参加者　財務大臣から通知を受けた者

二十　払込期日　平成二十三年二月十四日

○財務省告示第六十六号

国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵省令第三十号）第五条第十一項の規定に基づき、平成二十三年二月八日に発行した利付国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十三年三月八日

財務大臣　野田　佳彦